

役場新庁舎建設について

建設から 50 年以上が経過した役場庁舎は、①建物の老朽化、②利便性の低下、③耐震性の不足などの諸問題を抱えており、町では現在、建て替えに向けた準備を進めています。

新庁舎は耐震性・安全性に優れ、より良い住民サービスを提供できるよう、「まちづくりの拠点」となることを基本理念として建設します。平成 32 年度中の完成を目指し、今年度は 5 月に策定した庁舎建設基本構想をもとに、町民ワークショップを開催するなどし、基本計画・基本設計業務を進めています。

合同納骨塚について

少子高齢化や核家族化により、お墓の承継・維持管理が困難な方や経済的理由によりお墓の建立や寺院での納骨ができない方、葬送の多様化に対応することを目的に合同納骨塚を建立します。

建 立 場 所	旭ヶ丘霊園内
埋蔵予定量	800 体
使用料など	算定および使用者要件については検討中 (12 月定例議会に提案)
工 期	平成 29 年 9 月 29 日～12 月 11 日
工 事 費	4,212 千円 ※調査設計費を除く

今年のまちづくり懇談会と最近の傾向

今年のまちづくり懇談会は、以下の日程で町長が 10 会場に出向き、111 名の参加がありました。

日	月	火	水	木	金	土
					10/20 東地域会館	
	10/23 琴和福祉会館		10/25 サン・スポーツランドくっちゃん 中小企業センター		10/27 高砂地域センター	10/28 北地域会館 南地域会館
			11/1 東部地域会館	11/2 克雪管理センター		
	11/6 八幡地域センター					

最近の傾向

昨年と今年については減少傾向が顕著にみられますが、これは近年大型事業が進められる中で、それぞれの事業に関係する地域住民への説明会などの機会が増加していることが一因であると考えられます。

観光について

(仮称) 観光中核施設整備について

今年度 2 回実施した指名競争入札が不調に終わったため、再度一般競争入札を予定しています。(完成予定は平成 31 年 3 月に変更)

宿泊税について

国内外から観光客が訪れるリゾート「ニセコひらふ」の自然を守り、世界に誇る国際山岳リゾート“くっちゃん”の質と魅力を向上させるため、平成 31 年 11 月の条例施行を目指し検討を進めています。

民泊について

多様化する宿泊ニーズに対して一定のルールを定める住宅宿泊事業法が平成 30 年 6 月施行されます。

統合保育所について

平成 30 年 4 月の開所を目指す統合保育所の建設工事が進んでいます。それに伴い、既存の施設は以下のとおり他の用途に利用するか取り壊します。

子育て支援センター	→	南児童館
倶知安保育所	→	取り壊し
みなみ保育所	→	取り壊し
八幡保育所	→	八幡地域センター
八幡地域センター	→	取り壊し

まちづくり懇談会

町長が町民の皆さんとまちづくりについて意見交換を行う「まちづくり懇談会」。この懇談会は、町が現在進めている取り組みの状況などについて説明を行い、理解を深めてもらうとともに、対話を通して町民の皆さんから要望や意見を聞き、今後のまちづくりに反映させていくことを目的として毎年開催されています。

今月の特集では、今年のまちづくり懇談会で町長から説明のあった事項や町民との懇談内容などについてその一部を紹介するほか、まちづくり懇談会のあり方について考えます。

北海道新幹線・高速道路・まちづくりについて

後志自動車道路（高速道路）について

平成 28 年度事業化した高速道路については、その位置を含め、今後明らかに次第、随時お知らせしていきます。

北海道新幹線・まちづくりについて

ニツ森トンネルは本年 5 月より着工。羊蹄トンネルは工事業者が決定し、今後シールド工法により掘削を予定しています。

また、昨年より模擬高架橋による雪氷試験を開始しており、今年も継続して調査を実施。高架による新幹線の位置決定に向けた調査とあわせ、その結果に基づき、今後事業用地を決定していきます。

なお、町では新幹線事業に係る移転対象者に対し宅地の造成を予定しており、移転後の居住形態の意向調査を今後実施します。また、倶登山橋の架け替え工事や北 7 条通の整備についても今後予定しています。



町長、教えて！
事業のポイント

現在、町が進めている事業は多岐にわたりますが、今回のまちづくり懇談会では、皆さんの関心がありそうな事柄について、情報共有しておくべき事業として「お金のかかるもの」や「町民の生活に関わるもの」、また「町の未来にむけたもの」に絞って概要の説明をしました。

ごみ問題について

ひらふスキー場第 1・2・3 町内会地区で昨年 12 月より行ってきた新たなごみの排出・収集方法の試行を今年度も継続して行います。そのほか、正しいごみの分別・排出の徹底のため以下の対応をしています。

- 外国籍住民も含め、転入・転居時に住民窓口での個別指導を強化する
- 雇用主に対し従業員への指導について協力を求める
- 要請があれば出前講座を積極的に行う
- 外国籍住民向けにパンフレットを配布する
- ごみステーションに混在する違反ごみについて、町内会と連携し、適切な対応を行う

農業について

国の経営所得安定対策などについて

制度の改正などが進められる中、農業者の経営所得安定に向けて必要な対策であることから、関係機関と連携しながら国に対し要望していきます。

鳥獣駆除について

ヒグマ・アライグマなどが増加しており、その対策として各種補助制度を実施しています。

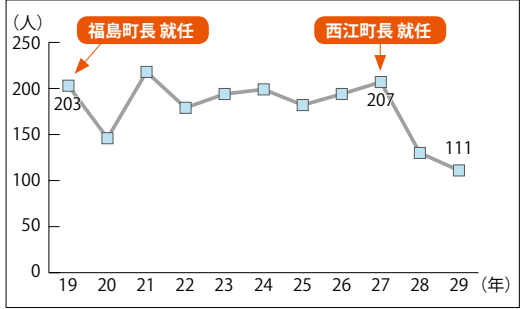
新規就農サポート事業について

次世代の農業者確保に向けて平成 28 ～ 32 年度までの計画の中で、様々な支援事業などを実施します。

国営かんがい排水事業中後志地区について

双葉ダムの老朽化や各頭首工、幹線水路の改修などについて、継続して調査を実施しています。

まちづくり懇談会参加者数の推移（平成 19 年～ 29 年）



まちづくり懇談会を考える

今年の参加者は、近年で最も少ない数となりました。今後のまちづくり懇談会をさらに有意義なものにするためには、懇談の方法などについて検討が必要です。そこで今回は、主催者である町長と参加者のひとりに話を聞くとともに、まちづくり懇談会のあり方について考えます。

私 たち町民にとって子育てや観光など関心のあ
る事柄は人それぞれですが、
自分に関わりがない事柄
柄については知らないとい
う人が多いと感じています。
西江町長が就任してから、
大きな事業については個
別に説明会を開催するよう
になりました。幅広く町
の動きを知る機会として
まちづくり懇談会が必要
だと考えます。

まちづくり懇談会は、町
長に日頃気になっている
ことを気軽に聞くことが
できる貴重な機会である
のに、参加者が少ないの
は非常に残念なことです。
懇談の内容が明確でない
ため参加しづらいと思
う町民も多いのかもしれ
ません。

一人でも多くの町民と語り合いたい

西江 栄二 町長



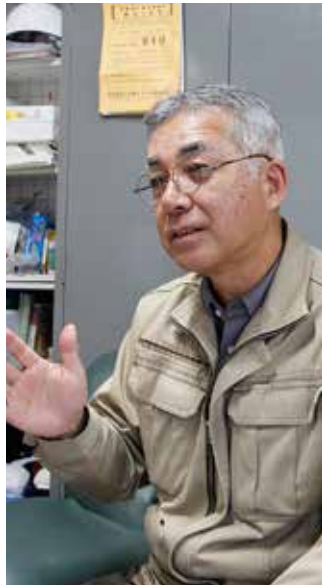
う、時期や時間帯について引き続き
検討していくと
もに、日頃から町
政に関心を持って
いただけるよう努
力していく必要が
あると感じていま
す。

まちづくり懇談会は、参加者にとっては町長から直接事業の説明を聞くことができ、また町にとっては町民の声を直に聞くことができる貴重な機会です。参加者が減っているという現状はあるものの、よりよいまちづくりのためにはまちづくり懇談会のような機会が必要不可欠なのではないでしょうか。

しかし、事業の説明と意見交換のどちらにおいても、多くの町民が集うことでこの懇談会がより活発になる

ことは間違いありません。開催にあたっては、説明内容を事前に明らかにすることや、より多くの町民に参加してもらえる時間帯の設定、また地域の行事にあわせた開催も検討していく必要があると考えます。

各事業における情報公開や、町民の声をていねいに聞き取ること。そのことが、行政が町民から求められることであり、協働のまちづくりへの第一歩なのではないでしょうか。



倶知安町町内会連合会

会長 佐藤 裕 さん
(南町協和会会長)

情報公開により親しみやすい行政へ

分別されていないごみの回収について

町民の声

ごみの分別を理解していない人が多く、回収されないごみも多い。それらのごみについては、回収されない理由を明らかにし、町内会でステッカーを貼るなどしたらどうか。

町の回答

分別されていないごみなどについては、回収する業者が啓発ステッカーを貼っている。今後、このようなごみを減らすために町内会と連携して指導するよう担当課と協議しながら進めていきたい。

宿泊税について

町民の声

町が検討している宿泊税について、北海道も検討しているようだが、その整合性はとれているのか。

町の回答

町は宿泊税として取り組んでいるが、道は観光税として検討を進めている。今後も国・道と協議しながら進めていきたい。

農業基盤整備に対する補助制度について

町民の声

農業基盤整備に対する補助制度について、農業者にとってメリットが大きかったので今後も継続してほしい。また、新たな制度があれば活用したい。

町の回答

この制度の今後を注視し、新たな事業制度については道に要望していきたい。

町長との意見交換

各会場における懇談内容について、その一部を紹介します。

エキノコックスの感染について

町民の声

市街地にキツネが出没したりフンが落ちていてエキノコックスの感染が心配なので、町の感染率を数字で示してほしい。

町の回答

町では、約10年前から駆虫剤入りペイトの散布によりエキノコックス発生の抑制に努めており、感染率については当初24%だったものが平成26年度には6～7%まで減らすことができていますので感染についてほぼ問題ない状況。

旧東陵中学校の利用について

町民の声

建物の全てを残す・壊すのではなく、半分だけ壊して残りを利用するなど色々検討してみてもどうか。

町の回答

当面は最低限の維持管理をし、将来的に利用価値がないとなれば解体して売却するのがいいと思っている。皆さんからの意見などを踏まえて今後検討していきたい。

アパートなどのごみステーションの設置義務について

町民の声

現在、新築も含め多くのアパートが建設されているが、住人が町内会に未加入であり、ごみのルールを守らないので困っている。アパートなどのごみステーション設置を義務づけられないか。

町の回答

町の条例では、8戸以上の場合ごみステーションの設置を努力義務としており、近年8戸以上の新築については全て協力をいただいている。また、町内会の加入については、本年度から転入時のごみの排出指導とあわせて呼びかけている。